



各 位

2025年12月3日

株式会社イクヨ（証券コード:7273）

代表取締役社長 孫 峰

## イクヨグループ、日本初の「水素アシスト自転車」が型式認定に合格

### —成長戦略「水素事業の加速」の一環として、水素モビリティとソリューションの普及を推進—

当社は、グループ会社であるYOUON JAPAN 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：孫峰、以下「YOUON」）が開発・展開する「水素アシスト自転車」が、国内で初めて型式認定を取得し、成績審査において合格したことをお知らせいたします。本取り組みは、当社が掲げる成長戦略「水素ソリューション事業の加速」に基づくものです。

また、同社が開発した水素アシスト自転車および水素生成機は、2025年大阪・関西万博の会場利用実績があり、水素モビリティの実運用に向けて着実に歩みを進めています。

#### 【背景】

当社グループは、水素自転車ビジネスの展開をはじめ、水素を活用した様々なビジネスを加速したいと考えています。単なる新エネルギー分野の枠を超えて、グローバルな協調を通じて、社会構造・産業構造の大転換を促すことで、サステナブルな社会と経済成長を実現するための中核的な役割を果たす所存です。

そのような中、当社は、YOUONが推進する水素燃料電池、水素発生機、水素自転車、水素製造貯蔵機器等展開事業の加速、および当社が推進するモビリティの研究開発及びその応用取引拡大に、相互のリソースを持ち寄り協力し、環境保全に貢献するために、同社を子会社化いたしました。

そしてこの度、YOUONが開発・展開する「24型 水素燃料後輪駆動電動アシスト自転車「U200」（水素アシスト自転車）」が、国内で初めて型式認定を取得し、成績審査において合格いたしました。当社グループは、今回の型式認定取得を契機に、日本国内および海外での水素モビリティ普及を本格展開いたします。

## 【水素アシスト自転車の主な特徴】

- **クリーンエネルギー駆動**

水素と空気中の酸素を化学反応させて発電。二酸化炭素を一切排出せず、排出は「水」のみ。

- **カートリッジ式システム**

小型水素カートリッジを採用し、安全かつ簡単に交換可能。

- **導入実績**

2025年大阪・関西万博では、会場スタッフの移動用モビリティとして採用され、環境配慮型交通の象徴的存在に。

- **環境、社会貢献**

自動車代替や短距離移動の脱炭素化を促進し、都市のカーボンニュートラル実現に寄与。



※型式認定を取得：24型 水素燃料後輪駆動電動アシスト自転車「U200」



※大阪・関西万博会場に導入したYOUON水素アシスト自転車

## 【水素エネルギー・ソリューション】

太陽光で得た電力を利用し、水から水素を生成・貯蔵いたします。生成された水素は、家庭用電力やガスコンロの燃料、モバイル発電機、水素アシスト自転車などに活用可能です。



- ・環境負荷の大幅低減：CO<sub>2</sub>排出ゼロの交通手段として都市の脱炭素化に貢献いたします。
- ・防災、分散エネルギーの強化：災害時にも利用できる安全な分散型電源システムとの親和性を高めます。
- ・政策連動と国際協調：日本政府が掲げる「水素社会実現戦略」や各自治体のゼロカーボン施策と整合いたします。

## 【2025年大阪・関西万博での導入について】

本システム、および水素アシスト自転車・水素生成機は、2025年大阪・関西万博において、会場内の移動手段として採用されております。

国際的イベントでの運用実績は、今後の国内外での展開に向けた大きなステップとなります。

## 【関連プレスリリース】

- ・[YOUON JAPAN、水素アシスト自転車と水素生成機が2025年大阪・関西万博会場に導入](#)
- ・[日本初の「水素アシスト自転車」が型式認定に合格【YOUON JAPAN】](#)
- ・[YOUON JAPAN 株式会社との資本提携及び子会社化に関するお知らせ](#)
- ・[\(開示内容の変更\)「YOUON JAPAN 株式会社との資本提携及び子会社化に関するお知らせ」の変更に関するお知らせ](#)

当社グループ全体で成長戦略「水素事業の加速」を推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

以上

【当リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社イクヨ ストラテジック デザイン部

Email : mail-ikuyo@ikuyo194.co.jp